

浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号 714-0081

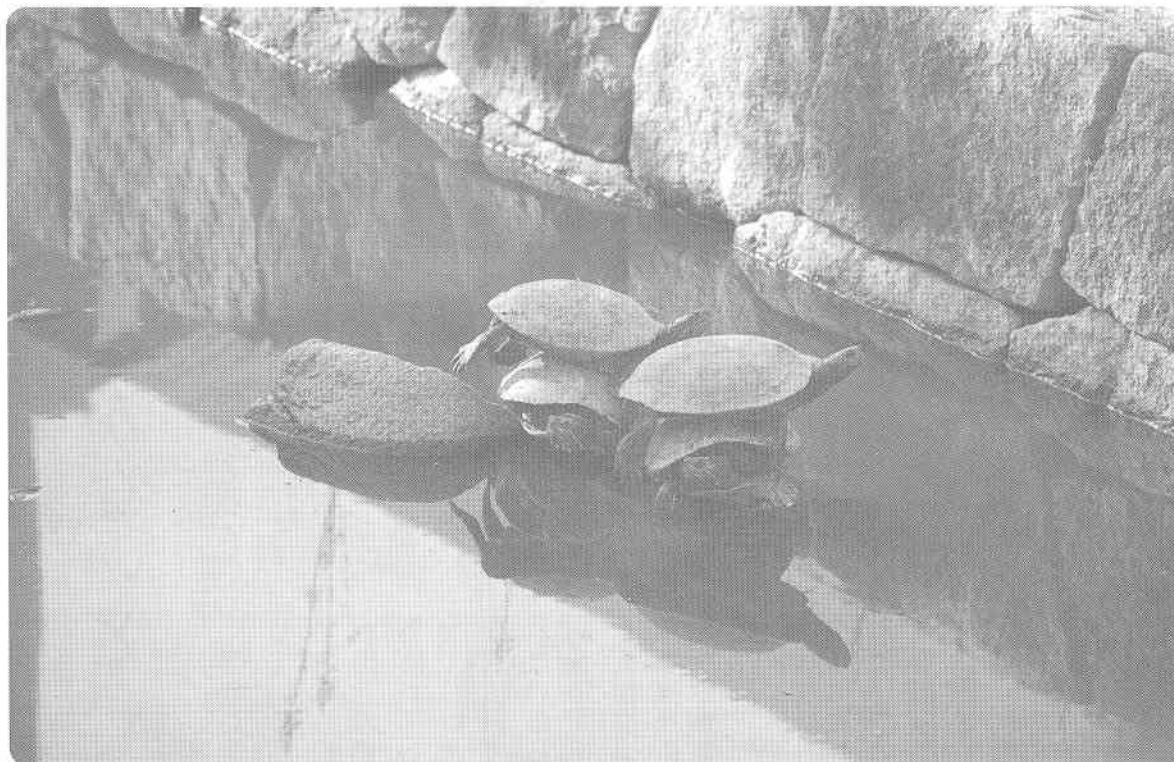
笠岡市 笠岡 2065

電話 (0865) 62-2623

FAX (0865) 62-2595

振替 01260-9-13760

<http://joshinji.suki-ari.net/>



コロナに負けるな！

「み法を味わって」(三)

苦 悩

喜びの人生とは、苦しみや悩みに出会わない人生のことではありません。苦悩のない人生はあり得ません。かえって苦悩があるからこそ人生だといふべきでしょう。苦悩を恐れ、逃げられるだろうかと自分で不安をつくり出して、それが現代人です。その不安をタネにいわば傷口に指を突っ込んでかき回すように、惑わし不安を増大させるのが迷信です。苦悩のない状態を夢見させ、あるいは苦悩を叩きつぶす力ができる。一旦は思い込ませて、しだいに深みに誘い、抜け出られなくしてしまいます。苦悩からいたずらに逃げようとするだけでなく、積極的に向かい合ってみたらどうでしょう。むしろ苦悩のある人生に生まれたということは、それが人間形成に役立つものだということではないでしょうか。不安や、時には病気の原因にさえなる苦悩を人間形成や人格向上に向け変えていく力こそ、仏法の真実の智慧の働きです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

こあんない

法宝物 虫ぼん法座

講師 福山市御幸町 平山智正師

七月十六日(木) 十三時半より

※マスク着用でご参拝下さい

紙上法話

「なぜ、仏教を聞かないといけないのか？」

志慶眞文雄

沖縄で小児科医院の二階に「まなざし聞法道場(仏の教法を聴聞する場)」を開いて、二十七年が経過しました。

浄土真宗と縁の薄い沖縄で、講演会や読書会を企画しても最初に参加する人は少なく、誰も来ないこともたびたびでした。親鸞聖人のみ教えをひとりでも多くの人に届けたいと、週末ごとに聞法会を開催していくうちに、現在では四十名前後の参加者があり、自ら会を支えてくださる方々もおられ、「嬉しい！」の一言です。

私が浄土真宗と出遭うきっかけは、十歳の時にさかのぼります。

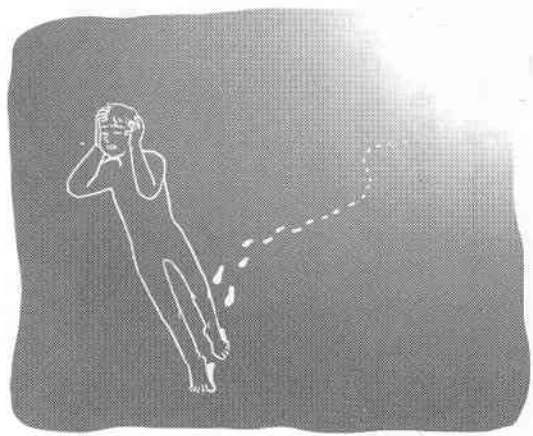
ある日、いずれ自分が死んでいなくなるという恐怖におそわれました。その思いは、小学校、中学校、高校、大学とますます深刻になり、死んで消えてしまう人生には何の意味もないと思えず、虚しい日々を送っていました。

小さい頃から興味があった天文学か素粒子物理学を学べば、虚しい日々に向かうのが開けるかと思ひ、広島大学大学院で素粒子研

究を始めました。しかしながら、科学的な方法では展望は開けませんでした。

科学が追及するのはHow(どういう具合に?)、つまり「こうして、こうして、こうなつて」という原因と結果の解明です。

しかし私が求めていたのはWhy(なぜ宇宙があるの?なぜ物質があるの?なぜ人間が存在するの??)でした。Howの科学的な方法論では、Whyの課題に到達できないことがわかり、博士課程を途中で退学しました。



そのように生きるのに四苦八苦している私の姿を見て、高校生のころから浄土真宗と縁があった熊本出身の妻が、広島大学会館で開催されている「歎異抄の会」に誘ってくれました。しかし、「今の葬式仏教では自分の生死は超えられないから行かない」と、結婚後、約七年間拒絶しました。

大学を退学し、紆余曲折あつて医学部を再受験することになり、その医学部合格発表の日思いもよらず「歎異抄の会」があり参加しました。もともと中学生のころから仏教には興味を抱いて本を読んでいたのですが、行き詰まりの中であらためてたくさんの原始仏教や禅宗関係の本を手に入れました。約七年の間にたかくな私の心も少し和らいで、医学部に合格したら「歎異抄の会」に行くと妻に約束していました。

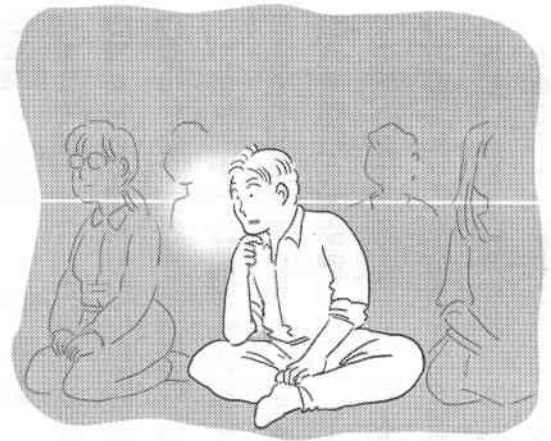
『歎異抄』の話を聞くのは初めてのこと、話の内容はあまり理解できなかったのですが、お話の中で「死んでいく虚しさが超えられないのは、あなた自身が問題だ

からではないのか」と問われた思いがして、ハッとしました。目の前のやるべき対象を変えることで生死の問題を解決しようとしてこれまで四苦八苦してきましたが、実はやるべき対象が問題ではなく、自分自身が問題だったとはじめて気づかれました。それは視点の大きな転換で浄土真宗の聞法を始めるときかけとなりましたが、分別を超えた阿弥陀さまの世界をいただくための悪戦苦闘の日々の始まりでもありました。

沖縄の聞法会には、日頃参加されている方々が、ぜひこの話を友人や知人にも聞かせたいと、毎回のように誘ってこられます。それで、仏教の話を初めて聞く方々のために、くり返し「なぜ仏教を聞かないといけないのか?」という話をしています。

つまり、「仏教は何を課題にし、どう解決したのか」ということで

私たちが生きているということ、は、生活をしていることですが、その生活を仏教の視点から「生



と「活」に分けて話しています。

「活」とは衣・食・住、地位、名誉、財産、健康などで、一言で言うと「パンをどう手に入れるか」という問題です。私たちは朝から寝るまでそれを追い求めています。それに意味がないと言っているのではありません。それはそれで大切です。

しかしながら、質が違うもう一つの大切な問題があります。それはパンを食べても死ぬという問題です。どんなにパンを山のように手に入れても、100パーセント死にます。

これが「生」の課題です。

この課題はあの人には必要かどうか、この人には必要でないという

特殊な問題ではありません。どの人も問わないといけない普遍的な課題です。これが仏道の眼目で、伝統的には「生死出づべき道」「生死を超える道」と言われてきました。

しかし、仏道とは「生死を超える道」ですと言うと、生老病死が問題だと勘違いしてしまいますが、正確に言えば私の生苦・私の老苦・私の病苦・私の死苦で、その「私」が問題です。

「生老病死」は事実そのものです。その事実を思いどおりにならないと誰が苦悩しているかというところ、この「私」です。私の何が問題かという分別が問題です。

〈好き、嫌い〉〈損した、得した〉〈勝った、負けた〉などの私の分別が、四苦八苦を生み出します。

この世に私たちが分別する身をもつて誕生したことが「生苦」でしょう。この「分別を根拠にして生きる私」を超える道が仏道です。

思い出されるのは、乳がんのため四十七歳でお浄土に還られた鈴木木章子さん(一九四一〜一九八八)です。北海道にお生まれになり、真宗大谷派西念寺の坊主でした。

たくさんのすばらしい詩を残されました。「生と死」という詩も心にひびきます。

私にとりまして

生と死

同意語と肯けます

(鈴木木章子『癌告知のあとで』)

探究社

「生」に執着し「死」をいみ嫌

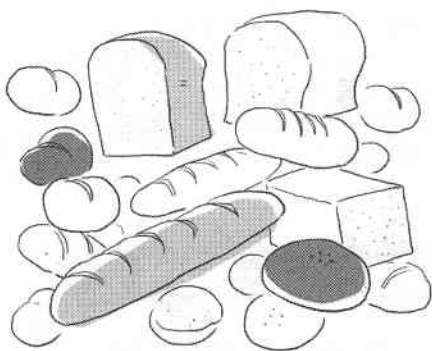
う人間の〈煩惱のまなこ〉では「生と死は反対語」としか思えませんが、一切の出来事を分け隔てしないで見る如来の〈法のまなこ〉では「生」も「死」も平等、つまり「生と死は同意語」です。分別を

根拠に生きる迷いの人生から、無分別からの名のりである南無阿彌陀仏を根拠に生きる人生への転換、つまり他力回向の信の成立が、空過しない人生を実現します。

ここに仏教を聞かないといけな理由があります。

出典・小冊子『お彼岸秋』二〇一九年

本願寺出版社



◎著者紹介

志慶眞文雄(しげまふみお)

沖縄県生まれ。小児科医、西本願寺医師の会会員、「まなざし仏教塾」代表。

広島大学大学院で素粒子物理学を研究、三十二歳で広島大学医学部に再入学、一九九二年しげま小児科医院開業。診療所に「まなざし聞法道場」開設。著書『如来のまなざしの中を』(自照社出版)他。



秋季彼岸会

ならびに

門信徒総追悼

永代経法要

講師 福山市山手町

石川知全師

九月二十三日(水)
十三時半より



令和2年度

門信徒会総会

平成31年度 行事報告(抜粋)

- ◎ 花まつり 4月29日(月) 8時頃より
- ◎ 総会 5月11日(土) 11時
- ◎ 降誕会 13時 女声コーラス同好会、音楽家の皆さん
仏教讃歌とチャリティコンサートと上方落語 笑福亭遊斎師
- ◎ 研修旅行 6月12日(水) 神戸別院、バイクルーズ 37名
- ◎ 法物虫ぼし法座 7月17日(水) 13時30分 三原市大和町 徳正寺 徳正俊平師
- ◎ サマースクール 7月23日(火) 9時～16時 教区内スタッフ3名/40名
- ◎ 盂蘭盆会 8月15日(木) 10時、14時 住職、前住職
- ◎ 秋季彼岸会・永代経 9月25日(水) 13時30分 三原市大和町 浄栄寺 栗原一乗師
- ◎ 地区委員会 12月 7日(土) 11時30分
- ◎ 報恩講 13時30分 神辺町 光行寺 菊屋光影師
- ◎ 除夜会、修正会 12月31日(火)、元旦
- ◎ 新春の集い 令和2年1月15日(水) 42名
- ◎ 春季彼岸会・永代経 令和2年3月19日(木) 中止
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教講座 毎回19:30～21:00 解説:住職
なるほど浄土真宗 ⑤4/9(火)、⑥6/5(水)、⑦8/24(土)、
⑧10/9(水)、⑨12/11(水)、⑩2/6(木)
- ◇念仏のつどい 毎月15日13:30より(但し6、7月は7:30から、1、8月はお休み)
「浄心寺だより」発刊 127号(5月)、128号(7月)、129号(11月)、130号(3月)
- 仏教婦人会 5/12初参式5名、6/16総会43名、9/19天神荘慰問13名、
11/12料理教室11名(第2回は中止)、例会(3月中止)、
9/14清掃奉仕44名、教区各種研修会
- 文化箏同好会 毎月第1金曜 13:30 指導:平田澄子先生
女声コーラス清風 毎月第2土曜 9:30 指導:平田澄子先生
ヨガ教室 毎週金曜日10:30～11:30 指導:藤本幸代先生
本山関係 7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥が淵全戦没者
追悼法要、各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、11/30報恩講、
総代研修会、平和のつどいなど
- 備中里組 同朋研修協議会、第8期連続研修会(偶数月)

令和2年度 行事計画

- ◎ 花まつり 4月29日(水) 中止 白印茶会も中止
- ◎ 総会 5月10日(日) 11時 中止
- ◎ 降誕会 13時 中止 (女声コーラス同好会、音楽家の
仏教讃歌とチャリティコンサートと上方落語 皆さん、笑福亭生斎師)
- ◎ 研修旅行 6月16日(火) 中止 山口別院参拝
- ◎ 法物虫ぼし法座 7月16日(木) 13時30分 福山市御幸町 光圓寺 平山智正師
- ◎ サマースクール 7月21日(火) 9時～16時 中止
- ◎ 盂蘭盆会 8月15日(土) 10時、14時 住職、前住職
- ◎ 秋季彼岸会・永代経 9月23日(水) 13時30分 福山市山手町 正圓寺 石川知全師
- ◎ 地区委員会 12月 5日(土) 11時30分
- ◎ 報恩講 13時30分 福山市内海町 善正寺 那須英信師
- ◎ 除夜会、修正会 12月31日(木)、元旦
- ◎ 新春の集い 令和3年1月中旬
- ◎ 春季彼岸会・永代経 令和3年3月 講師:未定
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教講座 毎回19:30～21:00 解説:住職
なるほど浄土真宗 4/9(木)中止、④6/11(木)、⑤8/22(土)、
⑥10/4(日)、⑦12/10(木)、⑧2/未定
- ◇念仏のつどい 毎月15日13:30より(但し6、7月は7:30から、1、8月はお休み)
「浄心寺だより」発刊 131号(5月)、132号(7月)、133号(11月)、134号(3月)
- 仏教婦人会 5/4初参式、総会(6月)、福祉施設慰問、料理教室(2回)、
例会(3月)、清掃奉仕(9月)、教区各種研修会
- 文化箏同好会 毎月第1金曜 13:30 指導:平田澄子先生
女声コーラス清風 毎月第2土曜 9:30 指導:平田澄子先生
ヨガ教室 毎週金曜日10:30～11:30 指導:藤本幸代先生
本山関係 7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥が淵全戦没者
追悼法要、各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、11/30報恩講、
総代研修会、平和のつどいなど
- 備中里組 同朋研修協議会、第8期連続研修会(偶数月、4月・6月
は中止)、青年部会主催ウォーキング

平成31年度 収支決算書

- 収入の部 4,137,956円
門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金
- 支出の部 4,137,956円
行事費(法座、荘厳費、サマースクール、研修旅行、新春の集い、役員会、総会)、賦課金、保険料、通信費、手数料、印刷製本費、光熱水費、修繕費、教化費、当期剰余金

この決算については、令和2年4月21日、監査藤井浩一郎氏、高橋保文氏により監査を受け、正確かつ妥当なことが認められ、5月10日、門信徒会総会(書面送付)において承認されました。

令和2年度 収支予算書

- 収入の部 3,643,902円
門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金
(ほかに門信徒会基金 12,000,000円)
- 支出の部 3,643,902円
行事費(法座、新春のつどい、仏教講座)、賦課金、通信費、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、備品購入費、教化費、予備費

渡邊	平田	大橋	松浦	松田	佐藤	赤松	日下	藤井	藤井	佐々木	小阪
新也	忠義	正道	稔	ミヨ子	敏雄	勇	賀子	正己	時久	秀子	彰
4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
10	11	19	21	4	5	6	23	3	5	6	11
87	83	84	69	88	74	97	92	90	71	96	72
京都市	三田市	七番町	倉敷市	大井南	大井南	新横島	中央町	生江浜	倉敷市	上田頭	関戸

浄土真宗



教えと

そのあゆみ

私たちの宗門(6)

聖教(3)

『仏説阿弥陀経』一卷

鳩摩羅什訳

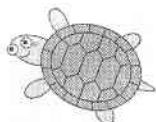
このお経は仏事などで多く読まれ、私たちにはなじみの深いお経です。

お釈迦さまが舍衛国の祇園精舎で説かれたもので、無間自説の経(釈尊が弟子の問いを待たずに自ら語りかける経)といわれています。

「舍利弗(智慧第一と呼ばれた十大弟子のひとり)よ」と何度も

浄心寺の奇景2

境内にカメさんが右往左往



梅雨の時期になると、境内のあちこちにカメさんがノコノコ這い回っているのを見かけた方もいらっしゃるでしょう。

浄心寺は「カメのお寺」として親しまれています。門前の池から

呼びかけておられますが、この舍利弗をわたし自身に呼びかけたものと置き換えて味わってください。

このお経には、極楽浄土の位置とその美しい有様を述べ、その極楽浄土はここから西の方へ十萬億もの仏の国を過ぎたところにある、阿弥陀仏が教えを説いています。

浄土は美しい宝石で飾られ、庭園には見事な花がよい香りを放っている。いつもすばらしい音楽が演奏され、また色とりどりの鳥が優雅な声で鳴いている。これらの音色を聞くと、おのずから仏・法・僧を念じる心が起きてくるというのです。

カメが上がり、裏庭で産卵するために上がってくるのです。人目のつかないところで卵を産みます。後ろ足で土を掘り、産卵が終わると、また後ろ足で土をかけ、腹でトントン打って固めます。

孵化するのは九月ごろですが、子ガメはそのまま地中で越冬し六月ごろに地上に出て、親のいる池に帰っていきます。帰り道は親が教えたのではないのにかわつてい

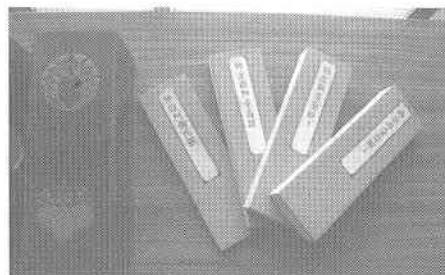
つまり、お浄土とは真実まことの世界ということをいろいろな表現で表しているのです。

一見、ひたすら自力の念仏をすすめているように受けとられがちですが、親鸞聖人は、このお経の本意はそうではなく、阿弥陀仏の摂取不捨の願いを信じるように求めているのだといわれています。

このお経は三訳ありますが、二存一欠です。

本願寺派では鳩摩羅什の訳したものを依用しています。

▲浄心寺所蔵の浄土三部経(一番左が『仏説阿弥陀経』)



るのです。自然の営みに驚かされます。

私たちがいのち終えて還る世界、それは親さま(阿弥陀さま)のいらっしゃるお浄土です。天国ではありませんよ。

境内でカメを見かけたら、池に戻さないでください。石垣を懸命によじ登り、やっと陸に上がり、産卵という大仕事をするのですから。

令和2年度
門信徒会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。納入につきましては、地区委員さんを通してか、地区委員のおられない地区の方はご参拝の折、あるいは同封の郵便振替(手数料無料)でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、それ以上の御懇志の方には金額を限定しておりません。(会 計)

孟蘭盆会

(うらぼんえ)

八月十五日(土)

十時と十四時

浄心寺本堂にて
お盆のおつとめをします。

編集後記

仲夏の候、新型コロナ感染症の収束のお知らせも届く今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。四月、五月の行事中止の報告と、今後の虫干し法座、孟蘭盆会、秋季彼岸会、門信徒会費納入依頼等をお知らせする第132号をお届けします。法座、行事等に参加され、ご聴聞に努められますよう、ご案内申し上げます。(編集委員U)